

須賀川市の魅力を全国に発信します。✈

2013.3
Vol. 01

SUKAGAWA SUPPORTERS CLUB MAGAZINE

須賀川サポーターズクラブ通信



一本に一花
一本に百花
これも牡丹

鈴木真砂女・句

須賀川の「風薫る」風景

鯉のぼりが空をおよぐころ、ま
ちを歩けば、あちらこちらから
漂ってくる薫り。胸一杯に深呼吸
すれば、エネルギーが満ちてきま
す。心がほぐれ、行きかう人の表
情も柔らかく感じます。牡丹が作
る須賀川笑顔。
五月、須賀川の風は牡丹の薫り
です。

サポーター活動一覧

物産展や観光 PR をサポートしていただきました。

月	日	イベント名	会場	参加人数
4月	14日	須賀川の物産展	八重洲観光交流館・深大寺	13
	15日			13
5月	4日	座間市 大鳳まつり	相模川グラウンド	2
	5日			2
6月	30日	須賀川の物産展	深大寺	3
	1日			3
7月	15日	須賀川の物産展	八重洲観光交流館	8
	16日			4
8月	18日	第34回須賀川市 釈迦堂川全国花火大会	スポーツ広場	7
	9月	16日	須賀川の物産展	八重洲観光交流館・銀座紙パルプ会館・西洋ホテル銀座
17日		8		
22日		須賀川の観光と物産展	深大寺	5
23日				5
10月	13日	須賀川の物産展	八重洲観光交流館	1
	14日	芸協らくご祭り	芸能花伝舎	3
11月	10日	須賀川 松明あかし	翠ヶ丘公園 五老山	2
12月	7日	調布観光フェスティバル	調布市役所	1
	24日	ふくしま大交流フェア	東京国際フォーラム	3

合計参加人数 (延べ) / 91人

平成24年度の活動について

サポーターズの

コメント

〔神奈川県 会員番号0086 / 早川 明子さん〕
地名は前から知っていましたが、震災がなければ行くこともなかったかもしれません。昨年花火大会の折、初めて参りました。ゆったりとした地に空が広く迫ってくるような感じで「臨空都市」ってこういうことかな? と思いながら歩きました。不思議な縁は「郷土を大事にする」ことも改めて教えてくれます。

〔千葉県 会員番号0537 / 阿部 昭寿さん〕
私は、須賀川市東町生まれ、故郷大好きな70歳。現在は、千葉県野田市に住んでいます。
東日本大震災前までは、毎年大型観光バスで野田市の方々を須賀川にご案内し

ていました。根本野田市長には、牡丹園に牡丹を植えていただき、今では25〜30の花を付け見事に咲いています。
震災後も、家族と花火大会に行ったり、40人の団体が牡丹園を訪れたりしています。

これからも須賀川に泊まり、街で買い物をして、故郷の復興にここがけます。
早期復興 頑張れ 須賀川

〔神奈川県 会員番号0315 / 藤井さん〕
東日本大震災後の座間市の大鳳まつりの時、須賀川の物産展で買った「大葉からしみそ」がとてもおいしかったので、11月に座間市の市民まつりで30個予約し買って友達に食べてもらった所、みんなよろこんでくれました。
他の物産もほしいとの声もあり、須賀川へ行ってみたいと思っています。

〔東京都 会員番号0252 / 吉田伴三郎さん〕
弟からの紹介でサポーターズクラブに入会しました。事務局からのイベント情報により東京で開催される「須賀

川物産展」に都合のつく限り参加しています。「物産展」での物品販売はもとより、須賀川の観光案内パンフレットを配布しながらPRにも努めました。
これからも「須賀川物産展」に積極的に参加していきたいと思っています。

〔東京都 会員番号0044 / 高野 治樹さん〕
須賀川でのイベント、東京で開催された須賀川物産展等、参加する事はできませんでしたが、ブログ・「writer」facebookにて発信いたしました。知り合いや出身者と話題にしたりしますが、実際に行ってもっと楽しみたいです。

〔兵庫県 会員番号0462 / 関定 貞夫さん〕
福島の子どもたちはこの3月25日から28日まで、「黙想の家」で寝泊まりし、いろんな行事に参加します。米谷(まいたに) 自治会としては、自治会員、子ども会、企業に募金の協力をいただき、PTA、子ども会によるミニ運動会で放射能を恐れず、自然や土と触れ合って喜んで帰ってほしいと願っています。

〔埼玉県 会員番号0088 / 福田 のぶさん〕
震災被害県の中でも福島は特別な県です。縁あってサポーターズクラブに入り須賀川の土地、人、自然、祭り等に触れ参加しました。また懐かしい学生時代の仲間と再会できたことも貴重な経験です。今年も再会楽しみにしています。

〔福島県 会員番号0259 / 荒木 優子さん〕
個人ブログや雑誌記事などに須賀川の桜や行事を紹介しています。これからは須賀川周辺の温泉をもっとPRしたいと思っています。美人湯の重曹系アルカリ性単純泉が豊富で、ほとんどが源泉かけ流しというのは希少です。あと、十念寺の代参犬シロももっと宣伝したいです。
8年前に県外から天栄村に移住しましたが、買い物そのほかは須賀川が中

心です。ここで震災を経験したこともあり、今では出身の東京よりも愛着を感じます。

〔神奈川県 会員番号0242 / Y.Yさん〕
須賀川を出て、今年で満50年になります。市内の実家もなくなり、お墓だけが残っています。

〔静岡県 会員番号0280 / 横野 守さん〕
昨年から、今年にかけて須賀川のまつぶるや、岩瀬のきゅうり漬・ウルトラマンリンゴジュースを静岡の復興カフェに置いて戴いて、須賀川の宣伝をしています。
これからも、なるべく多くの方に須賀川の魅力を広めて行きたいと思っています。

〔東京都 会員番号0039 / 清水 勝美さん〕
震災直後の1年目は13日、2年目の今年度は7日。東京のあちこちで催される須賀川市の物産展でサポートしてきました。東京の友人に声をかけ沢山の人が応えてくれると遣り甲斐があります。頑張つてねと声をかけてくれた人。福島に行ってきたよと外国人夫妻の笑顔の激励にも感動頻りです。

今でも苦しんでいる人のことを想い応援します。
〔東京都 会員番号0055 / しやまみさん〕
都内近郊(深大寺・座間)で行われた物産展のお手伝い(売り・ツイッターでのPR等)と物産品購入。今自分ができることは何かを考えながら、貴重な体験をさせてもらっています。
美しい牡丹園と大桑原つつじ園(5月)、盛大な花火大会(8月)、荘厳な松明あかし(11月)ほか、季節と伝統を感じる、自然豊かな素敵なまちです。今年もぜひ行きたい!

「復興支援バス」日記

平成24年10月27日(土)～28日(日)

さわやかな秋晴れとなった10月27日、東京から須賀川へ、お客様がいらっしゃいました。須賀川サポーターズクラブ会員対象の「復興支援バス」ご参加の皆様です。

このツアーは、東日本大震災による本市の被災状況や、観光施設など須賀川の「今」をご覧いただき、全国のサポーターと須賀川市の絆をより深めることを目的に開催されました。



お昼ごろ須賀川へ到着したご一行には、まず、香りが特徴の長沼蕎麦を味わっていただきました。みなさん、バスを降りて一息ついた様子でした。

―東日本大震災の傷跡―

市役所職員の案内で、震災により決壊した藤沼湖を視察していただきました。死者7人、行方不明者1人、流失もしくは全壊した家屋19棟、床上床下浸水家屋55棟という被害を出し、田畑の土壌も多くが流失しました。皆さん大きなショックを受けていたよう

で、全員で黙とうを行いました。市街地へ移動後、ボランティア団



体「知る古会」の案内で、まちなか散策へ。被害の大きかった田善通り沿いの、市役所、二階堂神社、諏訪神社などをまわりました。

参加者の中には、震災後一度須賀川市を訪問してくださった方もおり、「その時は表通りの松明通りしか見えていなかったけれど、一本路地に入るとこんなにも震災の被害が色濃くと驚きを隠せない様子でした。」

最後に、市の昔の資料や写真を保管・展示している「知る古会事務所」へ。ご一行は、須賀川市出身の方が多く、記憶の中の須賀川と今の須賀川を見比べながら、懐かしそうに見学していました。散策の途中で、思いがけず同級生と会うことができた方もおり、久しぶりの再会に思い出話しが弾みました。

―須賀川を味わう―

夕食を兼ねた交流会では、市長も参加者のみなさんのおもてなしに加わりました。須賀川の野菜を使った揚げたての天ぷらや、会津の馬刺し、須賀川きゅうりの雑魚和えなど、地元産にこだわった料理がテーブルに並びました。また、メロンにも似た

香りを持ちすつきりとした飲み口の、須賀川特産品きゅうりの焼酎「すかQ」が大好評！市長と和やかに意見交換をしながら、須賀川の誇る農産物に舌鼓を打っていました。



―秋を感じながら―

翌日は、朝採れたての地元野菜や果物が並ぶJAはたけんぼへ。お土産に梨・りんごなど、買い物を楽しみました。購入者特典の、須賀川特産米「牡丹姫」のお米すくいが行われており、皆さん奮闘していました。

その後、紅葉の美しい牡丹園へ。昔話の語り部・安田きよ子さん（市内在住）に、須賀川市に伝わる民話を聞かせていただきました。松明あかしにまつわるお話「三千代姫」や、「中町のおまんじゅう屋さん」などのお話を楽しみました。



「ふるさとガイドの会」の方々と園内を散策すると、ちようど紅葉が見ごろとなっていました。寒牡丹も鑑賞することができました。

―文化と産業の根付くまち―

昼食に「かっぱ麺」を食べた後、市立博物館へ。館長が、特別展「震

災を乗り越えた資料たち」を案内してくださいました。

この特別展は震災により歴史民俗資料館（北町倉庫）や各地の土蔵が倒壊した中、貴重な姿を保つことのできた資料を主人公としたもので、個人宅に保管してあった資料や須賀川出身の銅版画家・亜欧堂田善の作品を主に展示していました。

旅の最後に立ち寄った産業フェスティバルでは、野菜の品評・即売会が行われており、ここでも沢山の地元野菜をご購入いただきました。

2日間に渡り須賀川をご視察いただき、大変ご好評の内に幕を閉じた「復興支援バス」。こうして全国の皆様に須賀川の現状を知っていただくことが、復興への一歩になります。みなさんのお越しをお待ちしております。



復興支援バス行程

27日(土)	8:00	東京発
	13:20	昼食(長沼そば)
	14:20	藤沼湖視察
	15:30	まちなか散策
	17:00	宿泊先へ
18:00	交流会	
28日(日)	8:40	バス乗車
	9:00	はたけんぼ
	10:00	牡丹園 ・語り部による民話 ・散策・須賀川物産展
	12:00	昼食(かっぱ麺)
	13:00	博物館
	14:20	産業フェスティバル
	15:00	福島発

悠久の時を経て希望の華が咲き誇る

須賀川牡丹園

牡丹園のはじまり

その歴史は江戸時代に遡る。明和三(一七六六)年、この地で薬種商を営んでいた伊藤忠兵衛祐倫が、薬用とするため、摂津の国山本村(現在の兵庫県宝塚市)から牡丹の苗木を買い求めて現在の牡丹園の地に栽培したのが始まりといわれている。当時は、「伊藤新田」と称し、牡丹畑と呼ばれていた。



明治初年、伊東家の所有であった「伊藤新田」が、須賀川の中町で錦糸商を営んでいた豪商・柳沼家へ譲渡される。このときから、牡丹畑は観賞用の牡丹ほ場として衣替えをした。また、明治三十六年に「伊藤新田」の字地名を「牡丹園」と改称。通称「柳沼牡丹園」となる。

国指定名勝へ

牡丹園を継承した二代目の柳沼源太郎は、牡丹の栽培に寝食を忘れて取り組み、「牡丹と共に起き、牡丹と共に寝た」とさえ言われた。大正から昭和にかけてこの当時は、牡丹



園の全盛期であった。

昭和七年、「須賀川牡丹園」が国の名勝として指定を受ける。これは、牡丹園のほ場に、江戸時代の牡丹畑としての地割り跡が残っていたことと、数百株の牡丹が、すべて江戸時代からの古い品種であったことが認められたのだった。

危機を乗り越えて

柳沼源太郎が他界した後、引き続き柳沼家が牡丹園の運営に当たったが、戦時中から戦後にかけての物資不足で、牡丹の肥料が配給停止となり、さらに、食糧増産政策



のために牡丹のほ場に大豆が植えられるなどして、大半の株が枯死する状況となった。

昭和三十二年「財団法人須賀川牡丹園保勝会」が発足。翌年、牡丹園内に羽鳥用水を導入して遊園池を造成した。その後、牡丹枯死対策委員会を設置するとともに、千葉大学園芸学部浅山英一教授の指導・助言を受け、牡丹園の復興に当たったのだった。

全国に牡丹の香りを

平成五年、福島空港の開港を機に、牡丹を架け橋として、牡丹のふるさとである兵庫県宝塚市へ樹齢約一五〇年の古木三本と、樹齢約十年の若木二〇本を空輸し、牡丹の里帰りが実現した。また、当時の就航先であった、北海道函館市へは、十七品種五〇本の苗木を寄贈し、五稜郭公園に植樹された。

また、東京都品川区に昨年から三回に渡り牡丹苗を寄贈。数寄屋橋公園に植樹され、芳しい香りと共に道行く人の目を楽しませている。

歴史を紡いで

現在一〇haの園内には、二九〇種、七〇〇〇株の牡丹があり、種類の豊富さ、一つ一つの株立ちの大きさなど、そのすばらしさは観る人を魅了し、牡丹園としては唯一の国指定名勝である。



五月の初旬には、芳しく大輪の優雅な姿を見せてくれる牡丹。今でも、樹齢二百年にもなる在来古木が美しい花をつける。品種改良にも取り組んでおり、平成二十二年に発表された「須賀川の微笑」をはじめ、「昭和の夢」、公募により名称が決まった「希望の光」などは必見である。

牡丹会館

平成二十三年オープンした牡丹会館には、牡丹園の歴史に関する資料や歴代のポスターなどが展示されている。

また、ここでしか味わえない「長沼そば」が人気だ。開園期間中営業されるおそば屋さんでは、石臼挽きした地元産のそば粉に、つなぎを一切使わない十割蕎麦を目当てに行列ができる。園内を散策した後は、牡丹の花びらの粉末を練り込んだ「牡丹そば」を、ぜひご堪能いただきたい。



さくらまつり

昭和50年4月20日、須賀川に住んで間もない頃、ほうらん亭で親戚の結婚式があり、宴席の窓越しに桜が満開でした。それ以来須賀川の桜の見頃は4月20日を目安にしています。あれから38年、花と緑のまち須賀川が大好きです。

寺のまちでもある須賀川。中でも長松院、十念寺のしだれ桜は見事です。また、二階堂茶毘所、二階堂歴代墳墓の紅白の桜はかつての物部の鎮魂を今に伝え平和の象徴といわれており、思わず手を合わせたくなる隠れた桜の名勝です。

そこから東に目をやると樹齢300年ともいわれる諏訪の杜のエドヒガン桜が。種まき桜と呼ばれ、ソメイヨシノの母種と



▲釈迦堂川兩岸の桜並木は春の散歩コースの定番



▲下の川に架かる太鼓橋付近と芝生広場のしだれ桜はお花見に最高

しても用いられます。今でも日本桜の会が種の採取に訪れ、その苗が海外に届けられることもあるそうで、こうした桜の母親であるこの桜を誇りに思います。須賀川の桜前線は東から西へ移動します。長沼・岩瀬地区は、旧市内より標高が高い分少し開花が遅れます。開けた土地に点在する名木・古木は、春のドライブコースとして楽しんでいきます。牡丹のまち須賀川の4月は桜らんまん。ぜひお出で下さい。



▲ 酒井 清美さん



第25回すかがわ国際短編映画祭

平成元年、須賀川の地に「世界一小さな映画祭」のキャッチフレーズの下、「第1回すかがわ国際短編映画祭」がスタートし、本年、記念すべき第25回を迎えます。

さて、今年の映画祭は、第25回を記念いたしまして、5月10、11、12日の3日間にわたり、国内外から選りすぐりました32本の素晴らしい作品を上映いたします。5月10日(金)は無料となっております。本映画祭の生みの親である故金山富男氏作品「伊勢型紙」と「亜欧堂田善」を含め、過去に上映された秀逸な作品も再上映いたします。さらに、台湾芸術大学により、東日本大震災をテーマに制作された「未来への元氣」の上映に併せて、プロデューサーである同大学助理教授の丁祈



方氏をお招きしてのゲストトークを予定しております。注目して頂きたい作品が満載です。是非、ご観賞ください。

5月10日(金) 入場無料

18:00~20:20

11日(土)・12日(日)

10:00~17:30 10:00~17:45

福島県須賀川市文化センター大ホール

(前売り券)1日券 大人600円・2日券1,000円
(当日券)1日券 大人800円 ※高校生以下は無料

※須賀川市教育委員会文化・スポーツ課及び公民館などの各社会教育施設・コミュニティプラザ、JAFすかがわ各埠はたけんぼで販売

お問い合わせ先
すかがわ国際短編映画祭実行委員会事務局
〒962-0054 福島県須賀川市牛袋町5 須賀川アリーナ内
須賀川市教育委員会文化・スポーツ課内
TEL: 0248-88-9172 FAX: 0248-72-4166
※当日の連絡はこちらまで。Tel: 0248-76-7777

E-mail: sukagawa.film.fes@speedbb.jp
HP: http://yagi-building.com/sisff/

平成25年度 須賀川の主なイベント

- 4月 さくらまつり 4月5日~22日
●翠ヶ丘公園、釈迦堂川ふれあいロード
- 須賀川牡丹園開園 4月26日~5月下旬
●須賀川牡丹園
- 大桑原つつじ園開園 4月下旬~6月上旬
●大桑原つつじ園
- 宇津峰山開き 4月29日
●宇津峰
- 5月 すかがわ国際短編映画祭 5月10日~12日
●須賀川市文化センター
- 6月 本町芭蕉まつり 6月上旬
●軒の栗庭園周辺
- あじさい祭り 7月第2日曜日
●上小山田古寺山内
- 7月 きうり天王祭 7月14日
●大町
- 里守屋三匹獅子舞 7月最後の土・日曜日
●守屋
- 8月 馬町七夕祭り 8月上旬
●馬町通り(馬町)
- 市民よさこい・盆踊り大会 8月15日
●松明通り(中町)
- 8月 須賀川市釈迦堂川全国花火大会 8月24日
●J.R須賀川駅前河川敷
- 9月 長沼まつり 9月第2土曜日
●長沼金町通り
- 9月 須賀川秋祭り 9月第2土曜日と
その翌日
●神炊館神社(諏訪町)
- 10月 円谷幸吉メモリアルマラソン大会 10月第3日曜日
●須賀川アリーナ
- 10月 すかがわ産業フェスティバル 10月第4土・日曜日
●須賀川アリーナ
- 10月 いわせ悠久まつり 10月第4日曜日
●いわせ悠久の里
- 11月 松明あかし 11月9日
●翠ヶ丘公園内五老山、松明通り
- 11月 牡丹焚火 11月第3土曜日
●須賀川牡丹園
- 2月 雛(ひいな)の笑顔に会えるまち 2月中旬~3月上旬
●須賀川市中心市街地、商店街約70店舗

きゅうり天王

毎年7月14日、きゅうりを片手に浴衣姿の地元民でまちが賑わいます。「きゅうり天王」は、須賀川に夏の到来を実感させるお祭です。



「きゅうり天王祭」

—無病息災を願う—

江戸時代の須賀川の入り口「黒門」跡地に、岩瀬神社のお仮屋を建ててご神体を祀り、家族の健康を願うお祭りが行われます。きゅうりを2本奉納し、お護符代わりに別の1本をもらって帰り、家族で分け合って食べると病気にからず災いを防ぐといわれています。

—岩瀬神社(旧牛頭天王社)—

市の中心部、旭ヶ岡にある岩瀬神社には、きゅうり天王祭の祭神が祀られています。この祭神は、石背の国17代国造豊足彦と伝えられています。豊足彦は、天平勝宝3年(751年)に没した後、生前の徳により旭ヶ岡に祀られ岩瀬天王と称されました。また、生前広いきゅうり畑を有していたことから「きゅうり天王様」とも言われるようになったそうです。250数年前の宝暦年間(1751~1764)この地に疫病が大流行しました。人々は、これを天王様の祟りであると考え、旭ヶ岡から祭神をお迎えし、

きゅうりを供え祭事を行ったところ、たちまち疫病が消滅したことから信仰が始まったと伝えられています。

—市民に愛される祭—

きゅうりの神様を祀るこの祭が行われるのは、梅雨明け前のどんよりとした空のころ。きゅうりの神様は、雨を降らせようか降らせまいか迷いつつ、たいてい一時的に雨の恵みをもたらします。それでも、市民は毎年この祭を楽しみにしていて、雨の合間を狙って出かけます。お仮屋から続く松明通りは、きゅうりを手に露店の間をそぞろ歩きする人々や、ビアガーデンで夏の始まりを楽しむ人で賑わいます。持ちかえったきゅうりは、浅漬けになることがしばしばです。



須賀川サポーターズクラブ 会員募集中!!

知ってほしいな、
感じてほしいな
すかがわ

須賀川の気持ちを、全国のみなさんにお届けするゾ!



サポーターズの輪を
広げましょう!

会員のみなさん、当クラブではまだまだ会員を募集中です。ご家族、お友達、仕事仲間など、ぜひお誘いいただけませんか?

須賀川この人

●安田きよ子さん●

「すかがわ昔話の会」
「ふるさとガイドの会」会員



「むがーし、須賀川さ、大っきな店の御隠居様が住んでだんだと」街かどの休憩所から聞こえてくる昔話。子どもたちを前に、昔ながらの須賀川弁で語るの、安田きよ子さんである。安田さんは地元須賀川市を中心に、昔話の語り部。また、観光案内ボランティアとして活躍している須賀川のハンサムウーマンだ。この地域に伝わる昔話への造詣の深さ、やさしく、温かい語り口調に、癒しを求めて、大人でもまた聞きたくなる。

昔話の世界へ

私が他人の前で昔話をお話しようになつたきっかけは、平成13年にここ須賀川市で開かれた「うつくしま未来博」でした。

「からくり民話茶屋」でたくさんさんの民話と出合ううちに、民話に込められている「思いの深さ」に気付いたのです。民話はただひたすら子孫の幸せを願って、読み書きのできなかつた先祖たちが、人としての生き方や

地元で伝わる昔話

そんな時に出合ったのが狸森に伝わる狸の和尚さんの伝説です。こんなに温かいお話が地元にあった。私

暮らしの知恵などを、語ることで伝え続けてくれた深い愛と祈りのことばなのです。だからこそ、昔話は心を温かくしてくれるのです。そうしたら、お話の一つ一つがとても愛おしく思えてきました。

はとても驚き、感動しました。

私はすぐに図書館へ行きました。すると、他にもたくさんのお話が須賀川にあることがわかり、須賀川を見直しました。でも、その時には、語れる方がもういなかったのです。これらのお話を他の方たちにも知ってほしい。お話を語ってほしい、そう思いました。

今では、お話を聞いた方から、「地元こんな話があったのねえ。」と言っていたことがわたしの喜びになっていきます。

すかがわに恋して

伝説を語るために須賀川の歴史も勉強しました。須賀川の先人たちの素晴らしさに触れ、須賀川に住んでいることが誇らしく思えてきました。もっと地元のことを知りたい。そう思って、「ふるさとガイドの会」に入れていただきました。

先輩の皆さんからいろいろ教えていただくうちに、今まで見えなかつた須賀川の顔が見えてきて、ますます須賀川が好きになりました。松明あかしや牡丹焚火は、全国でもここで行われていませんが、どちらも（実は花火大会の始まりも）供養のためというのも、たくさんあるお寺や江戸時代から俳句の心を大切にしてきた須賀川らしさの表れといえるでしょう。

四季折々の景色や行事に加え、今に繋がるすべての人やものを大切にしている須賀川の心こそが須賀川の

宝だと思えます。

サポーターズクラブに感謝しながら

その須賀川が一昨年の大震災と原発事故で甚大な被害を被ってしまった。二年経った今、まだようやく復興へ向けてのスタートラインに立ったばかりですが、この間、サポーターズクラブの存在と度重なる温かいご支援が私たちを力強く支えてくれました。

私たちをずっと見守ってくれる方がいると思えることが、どれほどの力になるか、本当にありがたいと思います。

今後もお互いに心を通わせながら、須賀川と一緒に見守ってくださいさうお願いいたします。

狸の和尚さん

今から500年ほど昔、杉森村の宗徳寺に託尊という立派な和尚様がいて、村人達にとっても慕われていた。ある時、会津の天軍寺で大勢のお坊様達の大供養があり、託尊は一人それを切り盛りした。

ところが、何日も続くうち、疲れ果てた託尊はつい、元の古狸の姿でぐっすり寝込んでしまった。正体がばれてしまった託尊は涅槃の様子を見せるとそのまま息絶えた。

その後、杉森村は、狸の和尚様を偲んで狸森というようになった。※ふるさとかるた解説書から抜粋





ブログの作成

物産展



日本全国で
須賀川のPRを
しています!!

新発売!



須賀川のイベント情報・おいしい・楽しい情報は、これを見ればすぐ分かる!須賀川市の情報を毎日発信中!アクセス10万人達成しました。



↑須賀川観光協会
ブログ

観光協会の 活動をご紹介

イベント活動

パンフレットの作成

日本全国を飛び回り、須賀川のおいしいものを皆様にご案内・販売しております。須賀川市の農産物・加工品はどれも新鮮・おいしく、皆様に大好評です。名物かつば麺も、新しくなって販売開始しました。

須賀川市の情報がぎっしり詰まった「まっぴる須賀川」。グルメ・イベント・宿泊施設まで須賀川市の情報を完全網羅。市内各所で配布中。スマートフォンから簡単に閲覧できる、アプリも登場。



詳しくは
QRコードへ
アクセス!



↑iPhone&iPad用



↑Android用



須賀川市では大きなイベントが1年中催されています。毎年5月に大輪の花を咲かせる須賀川の牡丹園や、県内一の規模を誇る釈迦堂川全国花火大会、勇壮な日本三大火祭り松明あかしなどのイベント活動を主催しております。



玉木屋本舗で、
人気の商品が
こちら「福儀」

◀ショーケースの飾りつけも
かわいい!「福儀」
(1個200円)
福儀は、フランスの焼き菓子「ダックワーズ」を和菓子
にアレンジした商品。

老舗の おいしい和菓子店 本舗 玉木屋

今から約250年前の宝暦年間(1751年~1763年)創業の老舗和菓子店「玉木屋本舗」。

は、元々は「材木屋」だったことと、先代が「玉鈴商」を営んでいたことにより、材木の「木」、玉鈴の「玉」をとり、「玉木屋本舗」となったそうです。

現在は8代目の岩崎重憲さんがお店を経営しています。

昔ながらの和菓子やお煎餅、洋菓子を和菓子にアレンジしたオリジナル商品を製造販売しており、おじいちゃんおばあちゃん世代から若者まで幅広い世代に人気の菓子店です。

しっとり・ふわふわな生地にクリームと黒豆がたっぷり入った「お米の純生和ロール」こちらはまっぴる須賀川にも掲載された商品です。



▲陳列もとってもかわいらしくて、商品名が手書きなところも温かみがあります。



サクサクなシュー生地をラスクにアレンジした「しゅうラスク」



牡丹の花びらをイメージした「牡丹せんべい」

須賀川観光協会ブログ
Happy Life 須賀川に掲載

